

# JMFF

## 日機連週報

第3516号 2025年8月22日(金)

### CONTENTS

#### ● 委員会報告

第11回企業マネジメント研究委員会 「経営戦略と人材戦略の連動  
～事業変革を進めるにあたってのグローバル経営管理と人材戦略～」

#### ● 委員募集中

#### 企業マネジメント研究委員会のご案内

##### ● 日機連の動き

NHK 総合『魔改造の夜』公式イベント「魔改造の夜 THE MUSEUM」  
8/25(月)から9/2(火)まで、ベルサール秋葉原にて開催されます！

##### ● 会員イベント情報

(一社)日本電気計測器工業会 セミナー「女性のためのリーダー育成研修」のご案内  
日本精密測定機器工業会 測定機器セミナー「計測で創る、ものづくりの未来」のご案内

##### ● WASHINGTON REPORT

1. 市場が混乱する中、厳しい目にさらされる米国の経済運営
2. トランプ家の同族経営事業の拡大が利益相反の懸念を引き起こしている
3. AIとデータセンターブームの中、アンフェノール社が大型ブロードバンド契約を締結

##### ● お知らせ

全国作業工具工業組合 「正しい作業工具の使い方」のご案内  
(一社)カメラ映像機器工業会 「CP+2026」出展申し込み募集のお知らせ  
(一社)日本機械学会 「産業用ロボット規格ISO 10218-1/-2 改訂版  
情報提供セミナー」開催のお知らせ  
<中小機構> 台湾への輸出・展開を目指すジェグテック商談会参加者募集!【10/1 京都】

日機連ではホームページを開設しておりますのでご利用下さい。

URL : <https://www.jmf.or.jp>

[バックナンバーはこちらから](#)

<禁無断転載>

● 委員会報告

第 11 回企業マネジメント研究委員会

「経営戦略と人材戦略の連動 ～事業変革を進めるにあたっての  
グローバル経営管理と人材戦略～」

第 11 回企業マネジメント研究委員会(委員長:秦 則明、(株)日立製作所 グローバル渉外統括本部 産業政策本部 渉外戦略企画部 担当部長)を 7 月 23 日(水)に開催し、三井化学(株) 理事 ライフ&ヘルスケアソリューション事業本部 オーラルケア事業部長 小野 真吾氏から「経営戦略と人材戦略の連動(実践編)～事業変革を進めるにあたってのグローバル経営管理と人材戦略～」と題して話を聞き、意見交換を行った(文責:日機連)。



小野真吾氏

[講演要旨]

1. 経営戦略と人材戦略の連動に向けたグローバル経営管理

本日は、事業変革と人材戦略の連動について、私自身の実務経験をベースにお話します。グローバル化の進展やデジタル革命により、企業の経営環境が急激に変化する時代において、企業として目指すべき確固たる長期ビジョンを描いた上で、バックキャストिंगにより事業ポートフォリオ戦略の策定を進めていく必要がある。企業における事業ポートフォリオ戦略策定の目的は「企業価値の最大化」であり、市場価値を測る「事業性評価」と、経済価値を測る「財務(資本)効率評価」の 2 つの側面から、自社事業の現状を正しく捉えることが重要になる。人材部門は事業戦略と向き合い、伴走しながら、それを支える組織・人材のあり方を経営と一体となって考えていくことが求められる。

M&A やグローバル化は、事業ポートフォリオ変革の手段の一部である。新市場開拓にともなう海外進出には大きなチャンスがある一方で、大規模なリコールや、買収した企業の課題が後に表面化するなど、グローバル経営特有の脅威にも直面することになる。グローバル経営の目指すべき姿として、以下 3 つが挙げられる。

- ① 戦略のグローバル統合…個別市場戦略とグローバル戦略の統合(世界市場を攻める全体図)

② 経営資源のグローバル活用…ブランド・技術などのコア資源の世界的活用、人材の最適調達・最適活用

③ 知識創造モデルのグローバル化…世界での同時多発イノベーション、学習の相互融通

多国籍企業は、世界で活動範囲を広げる一方、国際的な市場の成長そのものをドライブしてきた。しかし、それは「世界が一つの市場になった」ことを意味せず、文化や経済、社会制度など、様々な違いが依然として存在し、それらが顧客の志向や調達可能な資源、組織運営など、ビジネスの幅広い側面に影響しているのが実態である。

グローバル経営においては、グローバルとローカルをどう整合させるか、という課題も存在する。本社主導による意図的戦略のグローバル展開と、海外拠点からボトムアップで生まれてくる創発的戦略との相互作用によって、グローバル戦略が形成・実行される仕組みが重要となる。人材育成も同様に、本社にしながら海外拠点の視点も兼ね備えている人材、現地に根差して活動しながらグローバルの視点も兼ね備えている人材、これらの人材を育成すると、組織としてグローバル vs.ローカルの複雑性に対処する力が高まる。

アルフレッド・D・チャンドラーの著書に「組織は戦略に従う」があるが、英語原文は「Strategy and Structure」であり、決して「従う」とは言っていない。私は「戦略は組織能力に制約される」が実態に近いと考えている。企業がグローバル化を目指しながら、なかなか実現しきれないのは、組織能力的な制約があるからであり、いかに組織能力を引き上げるかがグローバル戦略を遂行する肝となる。この組織能力の一部に、人材や組織があるということである。

## 2. 三井化学の事業変革と戦略再構築

三井化学では、2011 年にスタートした長期経営計画「VISION 2020」以降、「経営と人材の連動」を戦略の柱に据えてきた。現在の長期経営計画「VISION 2030」では「社会課題解決型ビジネスへの転換」を掲げ、成長領域である、ライフ&ヘルスケアソリューション、モビリティソリューション、ICT ソリューションの 3 領域において、新規事業創出や M&A を含めた積極的な資源投下とグローバル展開、および、収益性・資本効率性に課題のある事業の再構築を進めている。ベーシック&グリーンマテリアルズ領域においては、地域連携・他社連携を推進しながら成長を目指している。

「VISION 2030」実現に必要な不可欠な新規事業創出や人材育成を推進するためには、従来と異なる組織機能を作る必要があった。新規事業のためのアイデアを発掘するためのヘルプデスクを開設し、ビジネスコンテストなどを開催した。海水から抽出したミネラルをベースにしたプラスチック製造など、スモールスタートでの事業が多数生まれている。業界の性質上、小規模事業を多数創出してスケールを狙うことが可能であり、社員の部活動から新規事業が生まれるケースもある。最初は社員達が仕事の合間に自主的に行っていた活動が、社会的なインパクトが大きくなるにつれて、役員からサポートがつくようになった事例もあり、社員の自由な活動を阻害しないサポート体制の構築も会社として必要だと考えている。

当社は 2016 年に中期経営計画の策定を廃止し、10 年間の長期経営計画にシフトした。廃止の理由は、環境変化が激しい昨今において、3 年間の中期経営計画が時勢に合わなくなることが頻発し、数字に固執すると会社として進むべき方向性を誤るリスクが高まる、いわゆる「中計病」に陥っていたからである。現在は、長期経営計画をベースに数値目標を立て、環境変化を踏まえて毎年ローリングするプロセスとなっている。毎年の見直しの際には、目標達成率が低い場合も高い場合も、財務・非財務双方の KPI レビューを通じて、「VISION 2030」の進捗を確認している。

### 3. 経営戦略と連動した人材戦略

現在の人材戦略である包摂的タレントマネジメントは、多様性に富む経営者候補の育成、人材ポートフォリオ変革、自主・自律・協働の体現、3 つを柱として、経営戦略と伴走しながら取り組んでいる。人材戦略の実行は人事だけでできるものではなく、当然、経営陣は多様性を包摂できるリーダーシップを持った集団でなければならないし、人材の能力やステータスを可視化できるプラットフォームシステムが必要となる。

社では、2016 年にキータレントマネジメントの仕組みを導入し、多様性確保、及び、経営者候補パイプラインの実効性を可視化した。約 10 年間システムの運用を続けた結果、グローバルにどんな人材がいて、どんな経験を積んできて、どう変化したか、一定量のデータが蓄積した。そのデータを使って様々な指標を作り、戦略ポジションに対してどの程度後継者候補がいるか評価しながらモニタリングしている。2022 年以降、当社のキャリア採用比率は 60%を超えており、加入した社員が継続して活躍してもらえるよう、常に状態を把握している。「キータレント」、「将来の経営者候補」の選抜軸として、業績(パフォーマンス)、潜在能力(ポテンシャル)、熱意の 3 軸を活用している。抽出されたキータレントは、チャレンジングな業務、上位リーダー職に就く意欲のある人材か否かを検証し、事業ポートフォリオ変革に伴う必要ポジションと、経営者候補の質的整合を図っている。取締役会でも報告するようにしており、社外の独立役員からコメントをもらいながら PDCA を回している。グローバルでも人材育成施策を設置しており、グローバルリーダーシップ研修やグローバルマネジャーセミナーを通じて、当社グループにおいて事業を牽引できるキータレント向けの育成プログラムを実施している。2023 年には統合型人材プラットフォームをグループ全社(130 社)に展開し、グローバルで組織・人材データの管理基盤を整備した。

多くの企業が導入しているエンゲージメントについては、2018 年よりグローバル従業員エンゲージメント調査を開始した。当時、大規模な企業買収によって、1,500 人、3,000 人規模がグローバルに点在している状態でグループに入ってくる状況が発生し、組織や人材の情報が全く見えなかった。組織情報を可視化し、どんなことが起きているか把握・分析するために測定を始め、当社のユニークネス(権限委譲・自律性)を企業価値向上に繋げる取り組みを行っている。

### 4. 組織文化の変革と今後の展望

経営戦略を変えると、当然、企業文化も変えるべきだという議論が発生する。当社でも「VISION 2030」策定時にこの議論が起こり、現場だけでなく経営層の意識改革にも取り組んだ。CEO を含む役員が一堂に会し、企業文化について自分事として議論するワークショップを開催した。タレントマネジメントの将来像としては、選抜型から、テクノロジーを活用した包摂型のタレントマネジメントへシフトし、経営戦略の実現と従業員体験の最大化を目指している。

企業のトップが強いコミットメントをもって、トップダウンで改革を牽引する場合は、比較的短期間で変革が起こるが、当社の場合はどちらかというミドルボトムアップ的に上層部に提案しながら時間をかけて改革を進めてきた。事業ポートフォリオ変革が進む中で、プロジェクトの初期段階から常に伴走してきたことが、組織・人事改革が進んだ要因だと考えている。人材部門は、単なる制度設計や採用・配置だけではなく、事業戦略と向き合い、伴走しながら、それを支える組織・人材のあり方を経営と一体となって考えていく必要がある。

〔業務部〕

## ● 委員募集中

### 企業マネジメント研究委員会のご案内

日機連では、分野別に 4 つの研究委員会(技術イノベーション研究委員会、GX研究委員会、グローバル・バリューチェーン研究委員会、企業マネジメント研究委員会)を設置し、会員参画の下で活動を行っています。会員企業、会員団体のみなさまは、登録(委嘱)手続きのみで委員会へのご参加が可能となりますので、この機会に是非ご登録をご検討ください。

今回、ご案内するのは企業マネジメント研究委員会です。

企業マネジメント研究委員会では、「(1) 企業価値向上のための経営マネジメント」、「(2) 労働力不足時代の人的資本経営」、「(3) レジリエンスを高めるリスクマネジメントとガバナンス強化」を柱にテーマ設定を行い、有識者をお招きして意見交換及び課題検討を行っています。

#### <第 12 回企業マネジメント研究委員会>

●日 程:2025 年 10 月 8 日(水)15:30~17:00 講演(60 分)+質疑応答(30 分)

●テーマ:「パナソニックグループ様のサイバーセキュリティ戦略と工場  
&製品セキュリティの取組みの詳細(仮)」

●講 師:パナソニックホールディングス株式会社

サイバーセキュリティ統括室 兼 製品セキュリティセンター 松本哲也様

注)今回、講師のご都合により資料データの配布はございません。オンライン参加の方は、投影資料のみとなりますので予めご了承ください。

研究委員会への登録にご興味をお持ちの会員様を対象に、お試しでの Web 参加を受け入れます。会場でのご参加は、研究委員会へのご登録後に可能となります。お試し Web 参加をご希望の方は、以下、必要事項を 9 月 30 日(火)までに事務局メールアドレスにご連絡ください。研究委員会当日までに Web 会議用の招待メールをお送りします。研究委員会へのご登録に際しては、役職・年次・年齢等の制限は一切ございませんので、是非お気軽にご検討ください。なお、お試し Web 参加をされた会員様には、後日、研究委員会へのご登録に関するご案内をお送りしますので、予めご了承ください。(会員様の委員登録は、無料です)

#### <お試し Web 参加 お申込み例/申込期限:2025 年 9 月 30 日(火)>

件 名:第 12 回企業マネジメント研究委員会 お試し Web 参加希望

本 文:①企業名/団体名:一般社団法人日本機械工業連合会

②ご所属:経営企画部 ③ご役職:主任 ④氏名:機械 花子(きかい はなこ)

⑤メールアドレス:sample123@jmf.or.jp

お試し WEB  
参加募集中

#### <委員会登録お問い合わせ先>

事務局:日本機械工業連合会 業務部([gyomu@jmf.or.jp](mailto:gyomu@jmf.or.jp))

[業務部]



## 日機連の動き

- **総務連絡会**は 8 月 8 日(金)に第 489 回会合をハイブリッドで開催した。議題 1「小口精算」、議題 2「資産運用に関して」について、メンバー間で情報交換を行った。また、フリーディスカッションとして、追加議題 1「ストレスチェック導入(労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部改正に伴い)」、追加議題 2「正規職員の雇用について(採用方法、職員在籍状況等)」について情報交換を行った。

### ○ 今後の会合予定

開催日時		会合概要	場 所
8 月	26 日(火) 15:00～	<b>第 10 回 GX 研究委員会 見学会</b> 見学先:日立製作所中央研究所「協創の森」 内容:日立製作所中央研究所のサーキュラーエコノミーの取組みと「協創の森」の紹介、および見学	日立製作所 中央研究所 「協創の森」 (東京都国分寺市)
	26 日(火) 15:30～	<b>第 715 回総務懇話会・懇談会(大阪事務所)</b>	日機連大阪事務所 (大阪市北区)
	29 日(金) ～30 日	<b>第 654 回海外・産業動向懇談会・見学会</b>	新潟県燕市他
9 月	3 日(水) 13:30～	<b>第 490 回総務連絡会・見学会</b>	防衛省(東京都 新宿区市ヶ谷)
	5 日(金) 午後	<b>第 1 回機械安全標準化特別委員会、機械安全推進特別委員会(合同会議)</b>	日機連会議室 1
	5 日(金) 15:30～	<b>製造業における事業継続能力向上セミナー(大阪事務所)</b>	WEB 配信
	9 日(火) 15:30～	<b>第 98 回(2025 年度第 2 回)関西事業活力研究委員会及び懇談会(大阪事務所)</b>	ホテル阪急 インターナショナル
	13 日(土)	<b>関西日機連杯(大阪事務所)</b>	よみうり カントリークラブ
	18 日(木) ～19 日	<b>第 11 回 GX 研究委員会・見学会</b>	青森県むつ 小川原地区
	22 日(月) 13:30～	<b>第 10 回技術イノベーション研究委員会</b> 講演:・デジタル経済レポート: 聖域なきデジタル市場の到来と機械工業産業を飲み込む SDX(software-defined everything) ・ウラノス・エコシステム: AI 革命を起点にデータが飲み込む世界のミドルウェア戦略と ODS(ウラノス・エコシステム・データスペース) 講師:(独)情報処理推進機構 デジタルアキテクチャ・デザインセンター (DADC)情報分析官 津田通隆様	日機連会議室 1 <b>お試し WEB 参加募集中</b>

NHK 総合『魔改造の夜』公式イベント「魔改造の夜 THE MUSEUM」  
8/25(月)から 9/2(火)まで、ベルサール秋葉原にて開催されます！

NHK 総合で 2020 年 6 月より放送されている、ものづくりや技術開発に焦点を当てたエンターテインメント番組『魔改造の夜』(木曜 19:30～／不定期放送)初の番組公式イベントが、8/25(月)～9/2(火)、ベルサール秋葉原にて開催されます。弊会の会員企業も数多く出演されている番組の公式イベントということで、弊会も後援メンバーとして応援しています。

本イベントは、「ものづくり大国・日本」を支える日本中のエンジニアの皆様と、それを目指す方々を応援するため、これまで番組に出場した**総勢 80 体のモンスターが集結し、実物を見ることができる激レアイベント**です。また、モンスターの開発を担当したエンジニアの皆様によるモンスター実演&解説ステージや、お子様を対象としたワークショップも開催されます。日本を代表するメーカーや世界レベルの技術を持つ新進気鋭の企業から、それを目指す大学や高専まで、幅広い世代の技術者達が情熱を注いで造り上げたモンスター達を是非、会場をご覧ください。

記

【イベント名】魔改造の夜 THE MUSEUM

【会 期】2025/8/25(月)～9/2(火) \*会期中無休\*

【開館時間】10:00～18:00

※ 8/25(月)は 11:30 開館、9/2(火)は 16:00 閉館。

※ 入場は閉館の 30 分前まで。開館時間等は変更の場合がございます。

【会 場】ベルサール秋葉原 B1 階、1 階、2 階 (千代田区外神田 3-12-8 住友不動産秋葉原ビル)

【主 催】魔改造の夜 THE MUSEUM 実行委員会

【後 援】文部科学省、日本技術士会、産業技術総合研究所、全国高等専門学校連合会、  
日本機械工業連合会

【協 賛】沖電気工業、コンチネンタル・オートモーティブ、島津製作所、スズキ、SOLIZE、TDK、  
東レ、日置電機、本田技研工業、マブチモーター、村田製作所、ヤマハ発動機

【サポート協賛】オースズ、オーレック、三陽製作所、ソニー、ニッター、浜野製作所

【協 力】秋葉原電気街振興会、イワヤ

【企画・制作】NHK グローバルメディアサービス、テレビマンユニオン

【運営協力】サンライズプロモーション東京

【イベント公式サイト】<https://www.makaizo.net/>

【イベント公式 X】<https://x.com/makaizonet>

「魔改造の夜」番組公式サイト <https://www.nhk.jp/p/ts/6LQ2ZM4Z3Q/>



公式イベント「魔改造の夜 THE MUSEUM」についての詳細は、[イベント公式サイト](https://www.makaizo.net/)をご参照ください。  
[チケット](#)は、当日券の他に、前売り券、【平日・土日指定】早割チケット(前売)、【平日・土日指定】早割ファミリー券(前売／一のみ)、【平日限定】ペア券(前売 2 枚セット／一般のみ)があり、数量限定販売で、売り切れ次第終了となります。 [イベントのチラシへのリンクはこちら](#)。

〔業務部〕


 会員イベント情報

## (一社) 日本電気計測器工業会 セミナー「女性のためのリーダー育成研修」のご案内

一般社団法人 日本電気計測器工業会(JEMIMA)では、人財育成の一助となることを目的に、研修事業を実施しております。今回は、「女性のためのリーダー育成研修」(オンライン 2 日間コース)を開催いたします。本研修は、会員各社の若手・中堅・監督職クラスの女性で、すでにリーダーを務めている方から将来リーダーを目指す方を対象とし、信頼されるリーダーとして必要なスキル(安定力、決断力、育成力)を学ぶとともに、女性が働き続ける上で必須の「ワークライフバランスに応じたキャリアアップ」を実現するためのポイントを習得します。リーダーとして必要なスキルを知りたい方、身につけたい方、長く働き続けるための具体的な考え方や事例等を学び、自分なりのキャリアを考えたい方は必見です。

参加者は女性のみのため、意見交換をしやすい、悩みや不安の解消につながる具体的な情報を得ること、また自分らしいリーダー像を描くことができるようになります。会員各社の社員の人財育成に是非お役立ていただきたく、奮ってご参加くださるようお願いいたします。本研修は、幅広く当工業会の活動を知っていただくため、会員外一般企業の女性社員の方々のご参加も受け付けます。

## 記

## セミナー「女性のためのリーダー育成研修」概要

日 時：【1 日目】2025 年 9 月 18 日(木) 13:15~17:00 【2 日目】2025 年 9 月 19 日(金) 13:00~17:00

開催形式：Webex によるオンライン開催(グループワークは Webex ブレイクアウトセッション利用)

対象者：若手・中堅・監督職の女性の方(将来のリーダー候補、現リーダーの方におすすめてです。)

参加条件：講師や他の受講者様とのコミュニケーションを円滑化するため、受講中は常時カメラを「ON」にてご参加願います。

必要機器：パソコン、スピーカー、マイク、カメラ

内 容：セッションの主なテーマ

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. リーダーが果たす役割           | 2. 自分らしいリーダー像を見つける      |
| 3. 信頼されるリーダーになるための「安定力」 | 4. 信頼されるリーダーになるための「決断力」 |
| 5. 信頼されるリーダーになるための「育成力」 | 6. ワークライフバランスについて考える    |

※詳細は下記「女性のためのリーダー育成研修」の概要をご参照ください。

※研修項目は変更になる場合があります。

講 師：(株)フォーエッセンス 代表取締役 石川 あさ子 氏 定 員： 30 名(予定)

参加費：JEMIMA 会員：3,960 円(税込) 一般：7,920 円(税込)

締 切 2025 年 9 月 3 日(水)

問合せ先：(一社)日本電気計測器工業会 事務局 松川宛

電話：03-3662-8185 E-mail：[matukawa@jemima.or.jp](mailto:matukawa@jemima.or.jp)

[セミナーの詳細や申込については、こちらから公式ホームページをチェック！！](#)



## 日本精密測定機器工業会 測定機器セミナー 「計測で創る、ものづくりの未来」のご案内

日本精密測定機器工業会では、日本光学測定機工業会との共催で 2025 年 9 月 10 日(水)から 12 日(金)まで、東京ビッグサイトにて測定をはじめとした計測全般に関する総合展示会「[測定計測展 2025 / Measuring Technology Expo 2025](#)」を開催いたします。その展示会開催期間中に「計測で創る、ものづくりの未来 セミナー」を開催いたしますので、お知らせいたします。



記

### <計測で創る、ものづくりの未来 セミナー概要>

開催日:2025 年 9 月 10 日(水)

場所:東京ビッグサイト会議棟 6 階 605/606 会議

プログラム:

- |               |   |
|---------------|---|
| 10:05 ~ 11:00 | 高精度 X 線ミラー製造のための超精密形状計測技術<br>東京大学 先端科学技術研究センター 三村秀和氏  |
| 11:05 ~ 12:00 | 光ファイバプローブを用いた微細形状測定機の開発<br>北九州市立大学 機械システム工学科 / 村上 洋氏  |
| 13:00 ~ 13:45 | X 線 CT 測定の精度保証 ～基準ゲージの開発～<br>(国研)産業技術総合研究所 幾何標準研究グループ / 渡邊真莉氏                               |
| 13:50 ~ 14:30 | CMM の温度耐性向上に関する取り組み～工場環境での精密測定への対応、<br>環境負荷低減をめざして～<br>(株)ミットヨ 研究開発本部 計測技術開発部 / 井上友人氏       |
| 14:45 ~ 15:10 | 三次元測定機を用いた真円度測定の高精度化トライアル<br>鹿児島県 工業技術センター 生産技術部 / 岩本竜一氏                                    |
| 15:10 ~ 15:35 | プラスチック製低剛性製品における精密測定の考察<br>(地独)岩手県工業技術センター 電子情報システム部 / 和合 健氏                                |
| 15:35 ~ 16:00 | 日本唯一！都産技研にしかない JCSS 校正と日本初！<br>「全自動・レベル出し調整装置」共同開発<br>(地独)東京都立産業技術研究センター 実証試験技術グループ / 三浦由佳氏 |
| 16:00 ~ 16:25 | 金属 AM 技術の可能性と信頼性向上を支える測定計測技術<br>福岡県工業技術センター 機械電子研究所 / 山田泰希氏                                 |

# 測定計測展

※内容は予告なく変更される場合がございます。 ご参加頂いた方には、テキストをお配りしております。  
現地でのご参加または Zoom でのご参加が可能ですが、どちらも事前のお申込み(9 月 3 日締切)が必要です。  
お申し込みは、[日本精密測定機器工業会の公式ホームページへのリンクから！！](#)

# Washington Report ワシントンレポート



アサティグ島のポニーの起源には諸説ありますが、有力とされているのが、「17 世紀頃にスペイン船が難破し、積まれていた馬が島に漂着した」というロマンあふれる説です。(写真はワシントンコア提供)

「夏といえば海」。そんなイメージは日本も米国も共通です。米国でも、ビーチは夏休みの定番スポットとなっています。ワシントン DC 近郊で人気を集めているのが、メリーランド州とバージニア州にまたがるアサティグ島。島の大部分は国立海浜公園や野生動物保護区に指定されており、豊かな自然がそのまま残されています。この島の象徴ともいえるのが、野生のポニー(小型種の馬)です。ポニーは群れを成して暮らしており、砂浜を歩くその姿は訪れる人々を魅了しています。毎年夏には、伝統行事の「ポニースイム(Pony Swim)」が開催され、全米各地から多くの観光客が訪れます。ポニーたちは、島の南側にあるバージニア州チンコティグ島からアサティグ島へと海を泳いで渡ります。地元の騎馬隊「塩水のカウボーイ(Saltwater Cowboys)」がポニーたちを海岸へと誘導します。海を泳ぎ切った後は、群れの頭数を管理するため、一部の子馬たちはオークションにかけられ、その収益は、ポニーの保護活動や地元消防団の資金として活用されます。こうした仕組みが地元の伝統と自然保護を両立させてきました。特に今年は、「ポニースイム」が開催 100 周年を迎えたこと

もあり、例年以上の盛り上がりを見せました。野生のポニーと出会えるアサティーン島の夏は、まさに米国ならではの夏の風物詩といえるでしょう。

## 1. 市場が混乱する中、厳しい目にさらされる米国の経済運営

最近起こった出来事から、トランプ政権下での経済運営に対して大きな懸念が広がっている。最新データから、労働市場が予想外に悪化していることが明らかになり、そこに主要貿易相手国に対する大幅な新関税の発表が重なったことで、金融市場には動揺が広がった。8 月の第 1 週、主要な株価指数である S&P 500 は、トランプ大統領が関税導入を発表して世界貿易を混乱させた 4 月以来、最大級の下落を記録した。

労働省が発表した 7 月の雇用統計は、雇用者数の増加がわずかに 7 万 3,000 人とエコノミストの予想を大きく下回り、失業率も小幅ながら増加したことから、専門家たちに警戒心を抱かせる結果になった。さらに大きな問題となったのが、合計 25 万 8,000 人の増加とされていた 5 月と 6 月の雇用統計が大幅に下方修正されたことで、労働市場が継続的に低調であることが明らかになった点である。こうしたマイナス方向への修正は、企業が生き残るために苦戦しているか、中にはすでに廃業しているところがあることを示唆している可能性があり、景気後退の先行指標となることが多い。これらのデータは失望をもたらし、金融市場には即座に影響が現れた。10 年物米国債利回りが連邦準備制度理事会 (FRB) による利下げ観測を反映して大幅に下がり、ドルが他の主要通貨に対して下落した。

こうした混乱にさらに拍車をかけたのがトランプ政権の対応だ。修正された雇用統計が発表されると、トランプ大統領は労働統計局のエリカ・マッケンターファー局長を解任したが、この動きに対し、経済データを政治利用し、政府統計の信頼性を損なうものだとする非難の声が各方面から上がった。トランプ大統領はまた、FRB のジェローム・パウエル議長に対する圧力を公然と強め、即時利下げを要求した上に、議長の解任までも示唆した。そうした状況下、FRB 理事のアドリアナ・クーグラール氏が先日辞任したことで、トランプ大統領は予定より数ヵ月早く、新理事の任命という大きなチャンスを得ることとなった。これは、金融政策の決定に対する政治的支配を強めようというトランプ氏の意向を後押しするもので、パウエル議長のリーダーシップに対しては、これまでにない激しさで攻撃を加えている。大統領が、FRB の適切な判断に反して大幅な利下げを求めている中で、今回の辞任は FRB が慎重に守ってきた独立性を揺るがす恐れがある。

(ニューヨーク・タイムズ、8 月 1 日)

## 2. トランプ家の同族経営事業の拡大が利益相反の懸念を引き起こしている

トランプ一族はそのビジネス帝国を拡大し続けており、トランプ大統領の息子であるドナルド・トランプ Jr 氏とエリック・トランプ氏は、New America Acquisition I Corp という 3 億ドル規模の特別買収目的会社 (SPAC)<sup>\*1</sup> の設立に関与した。米国内の製造・サプライチェーン企業の買収を目指すこの SPAC は、貿易と産業活性化に関するトランプ大統領の政治的レトリックを反映しており、トランプ一族が金銭的利益のために政治的影響力を利用しているのではないかと倫理的疑問を生じさせている。トランプ兄弟は共に SPAC の諮問委員会に所属しており、同社の株 500 万株を保有する一方で、共同主幹事会社のドミニオン証券とは財政的に近い関係があり、そのため事業に関わる利害の境界がなお一層曖昧なものになっている。

この SPAC は、利益相反を生む可能性を秘めたトランプ一族による一連の事業の中で最新のものである。トランプ兄弟はこれまでも、銃器やメディア、金融サービスなど、米政権の政策に直接影響を受ける業界に積極的に投資してきた。両氏が 1789 キャピタル社 (保守派寄りの企業をターゲットとするベンチャーキャピタル会

社)のような会社に関わっていることは、政治的二極化を金儲けに利用するための周到に準備された戦略であることを示唆している。また、彼らに関わるミームコイン<sup>\*2</sup>や暗号資産企業、大規模なビットコイン・マイニング事業については、その事業判断が父親が大統領であることによる不適切な影響や恩恵を受けているのではないかとこの点で注目を集めている。大統領は、現在自分の一族が深い関わりを持っている暗号資産業界を後押しすることを明言している。トランプ一族の帝国が拡大するにつれ、透明性と倫理的境界線に関する懸念も高まっている。

\*1:特別買収目的会社(SPAC)=新規株式公開(IPO)で資金を集め、その資金で未上場企業を買収・合併することを目的とする会社。

\*2:ミームコイン=インターネット上のネタ/風刺(ミーム)を基とし、主に話題性で取引される暗号資産。

(ウォール・ストリート・ジャーナル、8月4日)

(ロイター、8月4日)

### 3. AI とデータセンターブームの中、アンフェノール社が大型ブロードバンド契約を締結

人工知能(AI)とデータセンター・インフラに対する需要の高まりで市場の変革が進む中、ブロードバンド業界では大規模な統合が進んでいる。コムスコープ社ブロードバンド部門を 105 億ドルで買収する件は、アンフェノール社にとって過去最大の M&A 取引であり、高速データ伝送に不可欠な光ファイバーや通信インフラの確保を巡る企業間の激しい争奪戦を浮き彫りにした。コネチカット州に本社を置くアンフェノール社は、航空宇宙産業から情報技術産業に至るまで、さまざまな業界で使用される相互接続製品や光ファイバーコネクタ、アンテナ、センサー、特殊ケーブルの設計会社である。一方、ノースカロライナ州を本拠とするコムスコープ社は、通信ネットワーク、データセンター、エンターテインメント向けネットワークなどのインフラを提供する世界的プロバイダーだ。今回の取引は 2026 年に完了する予定で、アンフェノール社がデータセンターの爆発的成長に乗じ、コムスコープ社が業務の合理化を進める中で成立したものである。

この取引は業界規模の広範な変化を反映している。ファイバーブロードバンド協会(FBA)は新たに発表したレポートで、AI 需要を満たすには米国の超大規模データセンターの容量を 2029 年までに 3 倍にし、ファイバーケーブルの敷設距離を 2 倍にする必要があると注意喚起した。かつてはバックグラウンド・インフラであった光ファイバーによる相互接続は、現在では AI のスケラビリティとパフォーマンスを左右する戦略的アセットとなっている。AI によって帯域幅需要が増大するにつれ、ブロードバンド契約も同様のペースで増加しており、ネットワーク接続をコモディティからデジタル経済における競争的優位性へと転換させる可能性がある。

(ウォール・ストリート・ジャーナル、8月4日)

(ライト・リーディング、8月4日)

(ライト・リーディング、7月31日)



## お知らせ

## 全国作業工具工業組合 「正しい作業工具の使い方」のご案内

[全国作業工具工業組合](#)は、日本の作業工具を製造する主要な製造業者によって構成されています。

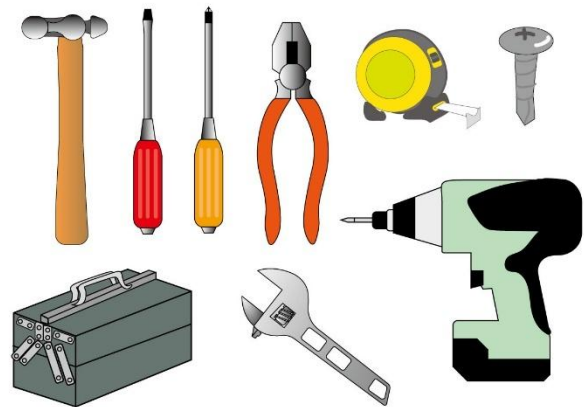
作業工具は、工作機械、自動車、電気製品、建設分野などの産業分野で作業をする際に使われる道具の総称で、手で扱うものが一般的です。「産業の米」とも言われる一方、作業工具は私たちの身の回りの様々な場所で使われています。例えば、自動車の修理や整備、家の建築や橋の建設など、幅広い分野で活躍しています。

具体的には、次の通りです。

- [手動工具](#):手で持って使う工具で、ドライバー、ペンチ、スパナ、ハンマー、のこぎりなど。
- [電動工具](#):電動モーターを動力源とする工具で、ドリル、サンダー、インパクトドライバーなど。
- [油圧・空圧工具](#):油圧や圧縮空気を利用して動力を得る工具で、コンプレッサー、ポンプ、ジャッキなど。
- [その他](#):電設工事で使われるストリッパーや圧着工具、配管工事で使われるパイプカッターや塩ビカッターなど、特定の作業で使用される工具。

日本の作業工具は明治中期頃から一部生産が始められ、今日まで延々と改良工夫が行われ、品質、デザイン、作業性あらゆる面でジャパンブランドとしてその地位を確立しております。世界に輸出も盛んです。

今回、皆様により安全に、容易に、効率よくご使用していただくために『正しい作業工具の使い方』が掲載されました。作業工具をご愛用頂いている皆様に、安全にご利用頂くために、ぜひご一読頂きたいコンテンツとなっております。詳細は、オフィシャルサイトのバナー『[正しい作業工具の使い方](#)』より、ご参照ください。



## 全国作業工具工業組合

All Japan Machinist Hand Tools Mfrs Association

[全国作業工具工業組合のオフィシャルサイトへのリンクはこちらから！！](#)

なお、『[正しい作業工具の使い方](#)』については、年内か来年はじめには改訂を行いまして、改訂版を全国作業工具工業組合ホームページに掲載する予定ですので、ご期待ください。

## (一社) カメラ映像機器工業会 「CP+2026」出展申し込み募集のお知らせ

[一般社団法人 カメラ映像機器工業会\(CIPA\)](#)では、毎年、世界最大級のカメラと写真・映像機器のワールドプレミアショーであり、写真や動画を愛する人々が集まる祭典「CP+」を開催しております。来年開催予定のCP+2026では、出展申し込み募集が始まっておりますので、お知らせいたします。

## 記

CP+は、カメラ、写真・映像機器産業の中心地である日本で、国内外のカメラメーカー、写真・映像関連メーカーやサービス事業者等が一堂に会し、最新の製品・技術展示や体験イベント、セミナーなどが行われます。5万人を超える来場者は、プロや写真愛好家だけでなく、ファミリー層、女性層、若年層など幅広く、会場は熱気にあふれています。CP+は、出展社とユーザーが直接触れ合える場であり、メディアや SNS を通じて世界中から注目されているイベントです。また、オンラインを通じて、40 万人以上の方がCP+のコンテンツを視聴しています。

CP+は世界中から映像関連企業や流通業の関係者が集まるビジネスの場でもあります。多くのメディアからも注目されており、CP+の会場の様子は、マスメディアや WEB などを通じて、世界中に配信されます。

CP+は、写真映像関連の製品やサービスをアピールし、ビジネスチャンスを広げる最高の場です。今後、映像の世界はさらに進化し、3D や VR といった新しい映像表現も広がっていくでしょう。CP+は、写真・映像・通信が一体となっていく将来を見据え、従来の枠にとらわれない、幅広い業界からのご出展を歓迎いたします。

出展の申込期限は、2025 年 9 月 30 日(火)までです。8 月 31 日までのお申し込みには、初出展限定の「[早期割引プラン](#)」もございます。また、リーズナブルな『[バジェットプラン](#)』の出展申込期限は、初出展限定の[早期割引プラン](#)同様に 8 月 31 日までとなっております。この機会にぜひ、CP+2026 への出展をご検討下さい。

## CP+(シーピープラス)2026 開催概要

## ◆ 会場イベント

会 期：2026 年 2 月 26 日(木)～ 3 月 1 日(日)10:00～18:00(最終日のみ 17:00)

会 場：パシフィコ横浜

## ◆ オンラインイベント

会 期：2026 年 2 月 26 日(木) 10:00 ～ 3 月 1 日(日) 23:59

アーカイブ期間 3 月 2 日(月)～ 3 月 31 日(火)

会 場：[公式ウェブサイト](#)

主 催：一般社団法人 カメラ映像機器工業会(CIPA)



Camera & Imaging Products Association 一般社団法人 カメラ映像機器工業会



CP+2026の[公式ウェブサイト](#)へのリンクは[こちらから](#)！！

出展に関してのご案内の[パンフレット](#)は、[こちらから](#)！！

## (一社)日本機械学会「産業用ロボット規格 ISO 10218-1/-2 改訂版 情報提供セミナー」開催のお知らせ

産業用ロボット及びその使用にかかわる安全規格 ISO 10218-1/-2 が 14 年ぶりに全面改定されました。[\(一社\)日本機械学会](#)では、その主要点を解説すると共に、ISO 10218-1/-2 適合に不可欠の機能安全規格 ISO 13849-1、さらに北米や労働安全への見識が高いユーザが適用を求める UL 1740 の特徴を解説するセミナーを、下記の通り開催します。

記

### セミナー開催概要

【開催日】 2025 年 10 月 24 日 (金) 10:30~17:00 (申込締切:2025 年 8 月 29 日)

【講習会形式】 オンサイトおよびオンライン(Zoom)によるハイブリッド形式

※開催日 3 日前を目途に当日のご案内をお送りいたします。

【対面開催地】 (株)UL Japan 本社 会議室(所在地:〒516-0021 三重県伊勢市朝熊町 4383 番)

【講演要旨】

1.挨拶 (10 分) 司会 (株)fs lab 浅井由尚氏

2.ISO 10218-1/-2:2025 の改定ポイント(120 分)

(株)デンソーウェーブ 橋本秀一氏 (ISO 10218 国際エキスパート)

3.Lunch Break(60min)

4.ISO 10218-1/-2 を理解する為の ISO 13849-1 の知識(40 分)

テュフラインランド(株)杉田吉広 (ISO 12100、ISO 13849-1 及び IEC 60204-1 の国際エキスパート)

5.ISO 10218-1/-2 で求められる PL a, PL b, PL c の構築方法(40 分) (株)fs lab 工藤元宏氏

6.ISO 10218-1/-2 と、北米ロボット規格(UL1740)の差分(40 分) (株)UL Japan 今村康敬氏・藤原政浩氏

7.ネットワークイベント(60 分):現地参加者の希望者全員\*

\* 現地にて参加されている方は、講演会終了後に講師を含む全参加者によるネットワークイベント(1h)に参加できます。この機会にロボットメーカ、周辺機器メーカ、システムインテグレータ、ユーザ、専門家など業界の垣根を越えた意見交換と人脈形成にお役立てできる機会です。(株)UL Japan 提供)。

【参加費(税込)】正員・特別員(行事参加割引コード利用)・協賛団体会員 25,000 円

会員外 35,000 円 一般学生 4,000 円

※当会も協賛しておりますので、日機連会員は 25,000 円でお申し込み頂けます。※参加費は全て税込みです。

講演会資料は、前日までに資料 Download 用のリンクを申し込み時に記載のメールアドレス宛てにお送りします。(会場での配布はいたしません)会場内に PC の持ち込み可能です。(電源あり)

【問合せ先】 〒162-0814 東京都新宿区新小川町 4 番 1 号 KDX 飯田橋スクエア 2 階

(一社)日本機械学会 産業・化学機械と安全部門(担当職員 北沢)

電話:03-4335-7610 E-mail:[kitazawa@jsme.or.jp](mailto:kitazawa@jsme.or.jp)

# 日本機械学会

[セミナーの詳細・お申し込みは、日本機械学会の公式ホームページへのリンクから！！](#)

<中小機構>台湾への輸出・展開を目指すジェグテック商談会参加者募集!【10/1 京都】

日本の中小企業と台湾企業のビジネスマッチングを促進するため、「**ジェグテック台湾商談会**」を 2025 年 10 月 1 日(水曜)に京都で開催いたします。本商談会には、日本製品の購入、日本企業との合弁会社設立、共同開発などを希望する医療、ヘルスケア分野の計8社の台湾企業経営者等が参加します。台湾への輸出拡大、ビジネス拡大を目指されたい企業の皆様は、奮ってお申込みください。

記

◆詳細・お申込みはこちら <https://businessmeet.hp.peraichi.com/taiwan2025>

◆海外企業の概要はこちら <https://service.smrj.go.jp/cas/customer/attachfiles/download/2092877ce3d143a2af859a0f0281622c>

<開催概要>

◆開催日程 :2025 年 10 月1日(水) ◆申込締切 :2025 年 8 月 29 日(金)

◆開催方法 :対面商談(会場は京都)又はオンライン(Microsoft Teams)

※対面商談される日本企業を優先いたします。

※海外企業のスケジュール等により、商談の中止や予定の変更が生じる場合があります。

◆募集対象 :海外販路開拓、海外展開を目指す中小企業 ◆参加費 :無料

◆参加国・地域:台湾 ◆主催 :独立行政法人中小企業基盤整備機構

独立行政法人中小企業基盤整備機構 販路支援部マッチング支援課

TEL:03-5470-2375

Email:[ceo-network@smrj.go.jp](mailto:ceo-network@smrj.go.jp)

